

# 平成28年度 学校法人純美禮学園

## 事業報告及び決算概要報告について

### ◆ 沿革

#### I 法人の概要

#### II 学園の法人会議及び監査について

#### III 各部門の教育推進の概要

#### IV 決算概要説明

##### <付 表>

- ・ 資金収支計算書 (第1表)
- ・ 資金収支内訳表 (第2表)
- ・ 活動区分資金収支計算書 (第3表)
- ・ 事業活動収支計算書 (第4表)
- ・ 事業活動収支内訳表 (第5表)
- ・ 貸借対照表 (第6表)
- ・ 財産目録 (第7表)

#### V 監査報告書

- ・ 学園監事監査報告書
  
- ・ 公認会計士監査報告書

#### 【参 考】

- ・ 「学生・生徒・園児数」(平成29年5月1日現在)

法人本部

◆ 沿革

年	月	事	項
大正 7 年	4 月	松村裁縫速進教授所開設	大津市北国町（現 三井寺町）
8 年	4 月	大津裁縫速進教授所と改称	
15 年	4 月	大津市蔵橋町（現 浜大津二丁目）へ教授所移転	
昭和 3 年	4 月	大津裁縫女学校開校	校長に中野富美就任
6 年	4 月	大津高等裁縫女学校に改組	同校専攻科卒業者に対し 小学校裁縫専科正教員無試験検定資格が、県知事から付与される
12 年	4 月	大津市梅林町に新築移転	
19 年	4 月	財団法人純美禮学園に改組	理事長に中野富美就任 滋賀高等女子実業学校と校名変更
23 年	4 月	学制改革に伴い新制高等学校に改組	大津家庭高等学校に校名変更
26 年	4 月	財団法人純美禮学園を学校法人純美禮学園に組織変更	理事長に中野富美就任
36 年	4 月	滋賀女子高等学校に校名変更	
37 年	12 月	滋賀女子高等学校	大津市朝日が丘に校舎新築
38 年	11 月	第二期工事	講堂兼体育館竣工
41 年	3 月	理事長に松村信蔵就任	
43 年	8 月	第三期工事竣工	梅林校舎を廃し朝日が丘に校舎統合
45 年	4 月	滋賀女子短期大学 開学	服飾学科、幼児教育学科の二学科設置 滋賀女子高等学校に普通科新設
47 年	10 月	滋賀女子高等学校	中野富美顕彰記念館竣工
49 年	5 月	滋賀女子短期大学	体育館竣工
51 年	4 月	理事長に原山淑夫就任	
55 年	4 月	滋賀女子短期大学附属幼稚園	開園
56 年	8 月	理事長に中野幹夫就任	
57 年	11 月	滋賀女子高等学校	普通科棟竣工（現 3 号館）
59 年	3 月	滋賀女子短期大学	音楽棟竣工（現 3 号館）
62 年	4 月	滋賀女子短期大学	秘書科新設
63 年	5 月	学園創立 70 周年記念式典挙行	
63 年	10 月	滋賀女子高等学校	第二体育館竣工

年	月	事	項
平成3年	3月	滋賀女子高等学校	普通科棟増築竣工（新館）
3年	4月	滋賀女子短期大学	服飾学科を生活学科に科名変更
6年	3月	滋賀女子短期大学	学舎増築（3号館）
9年	4月	滋賀女子高等学校	家政科を生活創造科に科名変更
11年	3月	滋賀女子高等学校	体育館建替竣工（第一体育館）
12年	4月	滋賀女子短期大学	秘書科をビジネスコミュニケーション学科に科名変更
15年	4月	滋賀女子短期大学	幼児教育学科を幼児教育保育学科に科名変更
16年	4月	理事長に松村文夫就任	
17年	4月	滋賀女子短期大学	生活学科に製菓衛生師養成校の指定を受ける
20年	4月	共学化に伴い学校名変更 滋賀女子短期大学を滋賀短期大学へ 滋賀女子高等学校を滋賀短期大学附属高等学校へ 滋賀女子短期大学附属幼稚園を滋賀短期大学附属幼稚園へ	
20年	5月	純美禮学園90周年記念式典挙行	
21年	3月	(財)短期大学基準協会における第三者評価の結果	適格と認定される
21年	3月	滋賀短期大学	生活学科に栄養士養成施設の指定を受ける
22年	1月	滋賀短期大学	生活学科に栄養教諭免許（2種）授与の課程認定を受ける
22年	4月	滋賀短期大学附属高等学校	生活創造科を人間総合科に科名変更
22年	11月	滋賀短期大学附属高等学校	2号館耐震工事完了
23年	10月	滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科	に日本医師会認定医療秘書養成校の認定を受ける
28年	3月	(財)短期大学基準協会における第三者評価の結果	適格と認定される

## I 法人の概要

- ・ 設置する学校の概要（平成28年5月1日現在）

学校名	学科	定員		現員	
		入学定員	総定員	入学数	総数
滋賀短期大学	生活学科	80人	160人	75人	155人
	幼児教育保育学科	170	340	154	329
	ビジネスコミュニケーション学科	100	200	64	157
	計	350	700	293	641
滋賀短大附属 高等学校	普通科	200	600	181	573
	人間総合科	80	240	49	145
	計	280	840	229	718
滋賀短期大学 附属幼稚園	3歳・4歳・5歳児	60	170	70	169

- ・ 役員・教職員の概要（平成28年5月1日現在）

### 【役員】（理事9名 監事2名）

理事長	松村 文夫（常勤）	理事	山田 義和（非勤）
理事	佐藤 尚武（常勤）	理事	馬場 章（非勤）
理事	那須 文英（常勤）	理事	中村 善郎（非勤）
理事	小野 清司（常勤）		
理事	井上 清久（常勤）	監事	東 清信（非勤）
理事	辻 雅代（常勤）	監事	山中 隆（非勤）

### 【評議員】評議員 井上 清久 以下19名

### 【教職員の概要（非常勤外数）】（平成28年5月1日現在）

教員 100名（72名） 職員 34名（15名）

<内訳>

短期大学	教員	31名（66名）	職員	22名（9名）
高等学校	教員	55名（6名）	職員	6名（5名）
幼稚園	教員	14名	職員	1名
法人本部			職員	5名（1名）

## II 法人会議及び監査の実施状況

### ◇ 法人の会議等

#### <理事会・評議員会>

年 度	月 日	会議区分	議 題 等
平成28年	5月27日	理 事 会	1. 平成27年度事業報告について
			2. 平成27年度決算について
			3. 平成27年度監査報告について
	5月27日	評議員会	1. 平成27年度事業報告について
			2. 平成27年度決算について
			3. 平成27年度監査報告について
	9月2日	理 事 会	1. 寄付金の受領について
			2. 短期大学学則の一部改正について
			3. 滋賀短期大学特任教員規程の一部改正について
			4. 臨時的任用の講師の雇用等に関する規定の一部改正について
	9月20日	理 事 会	1. 学園100周年事業について（経過報告）
			2. 平成27年度決算の財務分析について
3. 平成28年度資金運用中間報告について			
12月2日	評議員会	1. 滋賀短期大学附属高等学校隣接地の取得に伴う入札について	
12月2日	理 事 会	1. 滋賀短期大学附属高等学校隣接地の取得に伴う入札について	
12月16日	評議員会	1. 平成28年度予算の補正について	
12月16日	理 事 会	1. 平成28年度予算の補正について	
		2. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について	
		3. 学校法人純美禮学園職員の育児休業等に関する規程の一部改正について	
		4. 学校法人純美禮学園職員の介護休業等に関する規程の一部改正について	
平成29年	3月10日	評議員会	1. 平成29年度事業計画について
			2. 平成29年度予算について
			3. 滋賀短期大学附属高等学校人間総合科の科名変更について
	3月10日	理 事 会	1. 平成29年度事業計画について
			2. 平成29年度予算について
			3. 滋賀短期大学附属高等学校人間総合科の科名変更について
			4. 滋賀短期大学学則の一部改正について
			5. 公益通報者保護規則の制定について
			6. 評議員の選定について

### < 常任理事会 >

年 度	月 日	議 題 等
平成28年	4月28日	1. 当面の諸課題について
		(1) 経営判断指標について
		(2) 職員(事務系)の目標管理による個人評価制度について
	6月24日	1. 平成27年度決算における経営財務分析結果について 2. 滋賀短期大学における「第4次中期目標・計画」の概要について 3. 各部門における募集(学生・生徒・園児)戦略について
11月4日	1. 人事院勧告に基づく純美禮学園の給与改定について	
	2. 滋賀短期大学特任教員規程の一部改正について	
	3. 学園100周年事業の取組状況について	
11月24日	1. 滋賀短期大学附属高等学校隣接地の取得に伴う入札について	
平成29年	2月24日	1. 公益通報保護規則の制定について
		2. 滋賀短期大学附属高等学校人間総合科の科名変更について

### ◇法人の監査等

年 度	月 日	内 容 等
平成28年	4月4日	期首監査(公認会計士)
	5月21日 23日	平成27年度会計決算監査
		5月23日
	5月25日	学園監事監査
	7月22日	文部科学省「学校法人運営調査」
	7月26日	中間監査(公認会計士)
	9月21日	中間監査(公認会計士)
	9月7日	滋賀県総務課による現地調査
	11月21日	中間監査(公認会計士)
	平成29年	2月17日

### Ⅲ 各部門の教育推進の概況

#### <短期大学>

##### 1. 第4次中期目標・計画による教育研究の推進

平成28年度は、新たに策定した第4次中期目標・計画(平成27年～29年度)における「平成27年度当初の策定」の総括に基づいて、「平成28年度に向けての再策定」として5月に提示し、全学的な取組みを推進した。年度末には、部科局長等による平成28年度の統括を行い、平成29年度に向けての再策定に繋げている。

##### (1) 管理運営体制の整備について

- ・重要事項については、法人本部との定例的な企画調整会議のもとに協議した。
- ・滋賀短期大学外国人奨学生選考規程のほか、5つの規程と1つの申合せを制定した。また、授業科目の変更等に伴う学則の一部改正をはじめ、23の規定、内規及び申合せの一部改正を行った。
- ・企画委員会のもとにある教学マネジメント部会において、全学的な重要事項について検討した。補助金の獲得に向けては、申請の対象となる調査項目に関わって改善を図った。また、SWOT分析については学科ごとの取組のもとに、全学的なまとめをした。
- ・FDに関しては、前年度に引き続き、学内研究会を3回開催した。SDに関しては、大学改革の取組や財務状況などの研修に加え、管理職研修や中間管理職研修等を実施した。

##### (2) 教育体制の充実に向けて

- ・3つのポリシー(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)については一貫性のもとに点検し、各学科とも再策定を行った。
- ・学習支援室については、開室時間を遅らせるなどにより全学的な利用の便宜を図り、名称を「ラーニング・コモンズ」と改称した。
- ・共通科目においては、専任教員による専門領域での提供科目を増やし、1・2回生共通で受講できるようにした。
- ・シラバスについては、授業科目ごとに2頁とし、授業計画15回についての授業の運営方法、学習課題とその目安時間を示すなどにより改定した。
- ・資格試験等の合格率アップについては、生活学科では資格免許の合格に対する意欲を向上させる方法を検討するとともに、必要とする試験対策講座の内容を検討した。また、家庭料理検定を取得できるようにした。幼児教育保育学科では、学業途中で免許取得を放棄する学生がいることから、ゼミでのきめ細かい指導に加え、学科会議では学生の情報を共有し、各教科の指導においてもフォローアップの声かけをするなどにより努力した。ビジネスコミュニケーション学科では、全教員による資格の対策講座とするようにしたが、一部でできなかった。検定試験の補修期間については、教員間で調整を図って設定することが確認された。健康運動実践指導者の試験では難しさを嫌って受験者がなかったが、本年度は6名受験したものの、合格者はみられなかった。資格として、ビジネス実務士、上級ビジネス実務士を取得できるようにした。

##### (3) 学生支援体制の充実に向けて

- ・中途退学及び休学の希望者に対しては、その理由を早めに確認し、その状況に応じて指導した。なお、次年度は新しい休・退学届によって理由等の分析をし、適切な学生対応につなげることを確認した。
- ・キャンパス内禁煙に向けては、前年度の取組を踏襲し、継続的な禁煙指導を実施した。特に、新入生及び新2回生のオリエンテーションにおいて周知徹底するようにした。
- ・就職支援体制として、ハローワーク大津と草津からの相談員に週2回の指導を受けた。「就職支援講座」は、選考解禁日に合わせてプログラムを工夫して実施した。また、ビジネスコミュニケーション学科では公務員講座を単位化するあたり、「公務員特講」を開講した。生活学

科及び幼児教育保育学科の学生の受講を可能にし、公務員就職率のアップを図った。公務員として就職した者は7名(前年度:6名)であった。

- ・4年生大学への進学支援として、大学編入対策ガイダンスを開催し、進路希望に応じて指導した。4年制大学への編入者は6名であった。

## 2. 課外活動の実施状況

### (1) 学生団体の結成(平成28年6月2日現在)

- ・団体結成数 22団体(前年度19団体)
- ・クラブ及びサークル加入者数258名(前年度212名) 加入率40.6%(前年度34.3%)

### (2) 主な成績・活動結果

- ・第51回全国私立短期大学体育大会(8/8~8/11の4日間)
  - バレーボール部女子 第3位
  - バドミントン部女子 団体優勝、ダブルス優勝、シングルス第3位
  - バスケットボール部女子 ベスト8
  - ソフトテニス部女子 団体優勝、ダブルス優勝・準優勝・3位(2組)
- ・バスケットボール部女子
  - 関西学生バスケットボールリーグ戦(3部) 第6位
  - 滋賀県学生選手権大会 第2位
- ・バレーボール部女子
  - 関西大学バレーボール春季リーグ戦(2部) 第8位(3部降格)
  - 関西大学バレーボール秋季リーグ戦(3部) 第4位
  - 近畿6人制バレーボール総合男女選手権大会滋賀県予選 優勝
- ・ソフトテニス部女子
  - 関西学生ソフトテニス春季リーグ戦(3部) 優勝(2部昇格)
  - 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦(2部) 第5位
  - 京都学生ソフトテニス新進大会 ダブルス第3位
  - 滋賀県ソフトテニス秋季選手権大会 ダブルス準優勝
  - 滋賀県インドア選手権大会 ダブルス優勝
  - 全日本学生ソフトテニス選手権大会 出場
- ・バドミントン部女子
  - 京都学生バドミントンリーグ戦(1部) 第6位(1部残留)
  - 関西学生バドミントン春季リーグ戦(2部) 第4位
  - 関西学生バドミントン秋季リーグ戦(2部) 第5位
  - 滋賀県バドミントン総合選手権大会 シングルス第3位
  - 全日本学生バドミントン選手権大会 出場
- ・2016 KDK ファッショングランプリコンテスト
  - 京都百貨店協会賞 生活学科2回生1名
  - 佳作 生活学科2回生2名、同学科1回生1名

## 3. 学生相談状況

- ・学生相談室来室者 延べ相談者160名(前年度175名)

## 4. 自己点検・評価活動の状況

- ・平成27年度自己点検・評価報告書を平成28年7月に刊行した。
- ・平成28年度自己点検・評価報告書を平成29年6月に刊行した。

## 5. 学生募集の状況

### (1) 平成 29 年度入学試験受験状況

- ・志願者数 345 名 (前年度 317 名)
- ・合格者数 339 名 (前年度 315 名)
- ・入学者数 321 名《内男子 26 名》 (前年度 293 名《内男子 29 名》)

### (2) 夏のオープンキャンパス開催状況

- ・開催日 6/11(土)、6/12(日)、7/16(土)、7/17(日)、8/20(土)  
参加者延べ 778 名 (前年度 767 名)

### (3) クリスマスオープンキャンパス開催状況

- ・開催日 12/17(土) 参加者 56 名 (前年度は秋の学園祭時に開催 55 名)

### (4) 春のオープンキャンパス開催状況

- ・開催日 3/20(祝月) 参加者 114 名 (前年度 155 名)

## 6. 留年、退学、除籍の状況

- ・留年者数 7 名 (前年度 12 名) 退学者数 28 名 (前年度 20 名) 除籍者数 8 名 (前年度 6 名)

## 7. 卒業生の状況

### (1) 卒業状況 (9 月卒業含まず)

卒業総数 327 名 (前年度 256 名)

- ・生活学科 73 名 (前年度 67 名)
- ・幼児教育保育学科 162 名 (前年度 130 名)
- ・ビジネスコミュニケーション学科 92 名 (前年度 59 名)

### (2) 免許・資格等の取得状況 (9 月卒業含まず) ( ) 内は前年度人数

#### 生活学科

- |            |             |               |             |
|------------|-------------|---------------|-------------|
| ・中学校教諭 2 種 | 0 名 (0 名)   | ・フードスペシャリスト合格 | 7 名 (0 名)   |
| ・栄養士免許     | 38 名 (27 名) | ・製菓衛生師受験資格    | 32 名 (28 名) |
| ・栄養教諭 2 種  | 1 名 (4 名)   |               |             |

#### 幼児教育保育学科

- |                |               |                    |               |
|----------------|---------------|--------------------|---------------|
| ・幼稚園教諭 2 種     | 137 名 (116 名) | ・保育士資格             | 143 名 (115 名) |
| ・児童厚生 2 級指導者資格 | 10 名 (6 名)    | ・レクリエーション・インストラクター | 2 名 (0 名)     |

#### ビジネスコミュニケーション学科

- |                   |             |                    |             |
|-------------------|-------------|--------------------|-------------|
| ・上級秘書士㊦           | 21 名 (8 名)  | ・上級情報処理士㊦          | 13 名 (9 名)  |
| ・秘書士㊦             | 67 名 (39 名) | ・情報処理士㊦            | 77 名 (35 名) |
| ・秘書士 (メディカル秘書)    | 0 名 (31 名)  | ・ウェブデザイン実務士        | 11 名 (3 名)  |
| ・上級秘書士㊦ (メディカル秘書) | 14 名 ( - )  |                    |             |
| ・日本医師会医療秘書合格      | 10 名 (5 名)  | ・レクリエーション・インストラクター | 9 名 (4 名)   |
| ・健康運動実践指導者合格      | 0 名 (0 名)   |                    |             |

※H29.3 卒から資格名の最後に㊦がつく

※秘書士 (メディカル秘書) はH29.3 卒から上級秘書士㊦ (メディカル秘書) へ

### (3) 就職状況 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

- ・就職率 99.3% (前年度 99.5%)

- ・幼児教育保育学科就職者の幼、保、施設への就職率 83.3%（前年度 88.5%）
- ・総求人件数 1,096 件（前年度 1,017 件）

## 8. 教員の状況

### (1) 専任教員数

31 名（前年度 33 名） ※専任特任教員 10 名含む  
〔特任教授 4 名、特任助教 3 名、特任助手 3 名〕

### (2) 非常勤教員数

100 名（前年度 108 名） ※非常勤特任准教授 2 名、非常勤特任助教 1 名含む

## 9. 専任教員の授業担当状況

	前期担当平均時間数	後期担当平均時間数	通年担当平均時間数
・生活学科	9.1（前年度 10.1）	11.9（前年度 10.6）	10.5（前年度 10.4）
・幼教学科	13.0（前年度 12.8）	13.2（前年度 10.9）	13.1（前年度 11.9）
・ビジネス学科	12.2（前年度 11.7）	11.8（前年度 10.9）	12.0（前年度 11.3）

## 10. 教員の外部資金獲得状況

### (1) 科学研究費助成事業（科研費）：文部科学省・日本学術振興会

教員名	研究課題	28 年度交付決定額	研究種目
小山内 幸治	大学生への調査に基づく金融リテラシー概念の再検討と金融教育プログラムの構築	650 千円 うち間接経費 150 千円	基盤研究（C） 研究代表者
原 知子	微小重力環境における煮物調理とその数学的モデル	1,170 千円 うち間接経費 270 千円	基盤研究（C） 研究代表者
山中 博史	幼児が楽しんで行えるステップアップ式敏捷性テストの作成	65 千円 うち間接経費 15 千円	基盤研究（C） 研究分担者
佐藤 尚武	幼児が楽しんで行えるステップアップ式敏捷性テストの作成	65 千円 うち間接経費 15 千円	基盤研究（C） 研究分担者
金澤 雄介	サルデーニャ語における語順と情報構造の通時的研究	780 千円 うち間接経費 180 千円	若手研究（B） 研究代表者

### (2) 地域共生型社会推進事業助成金：滋賀県民間社会福祉事業職員共済会

教員名	事業名	28 年度助成金額
李 霞	滋賀県における「保育士の質」の実態と課題 －滋賀県南部地域の調査を手掛かりに－	200 千円

### (3) 大学地域連携課題解決支援事業 2015：環びわ湖大学・地域コンソーシアム

教員名	取組テーマ	28 年度採択額
小山内 幸治	ゆるキャラ「たび丸」を活かした「カミッシュ」による草津市の国際的な PR の試み	50 千円

## 11. 教員の研究費の状況

### (1) 個人研究費

- ・専任教員一律 25 万円

### (2) 学長裁量経費の区分

- ・学長裁量経費Ⅰ型（教育改革）
  - Ⅰ型1：全学的課題及び学科的課題の解決に向けた教育改善  
申請者2名 申請合計額240千円 採択者2名 採択合計額240千円
  - Ⅰ型2：授業改善に関わるモデル授業づくりの教材開発 申請なし
- ・学長裁量経費Ⅱ型（研究推進）
  - Ⅱ型1：地域の教育文化や産業等との連携による教育研究の推進  
申請者4名 申請合計額730千円 採択者4名 採択合計額630千円
  - Ⅱ型2：発展的高度化に関わる教育研究の推進
    - 1：国際学会等における発表への支援 申請なし
    - 2：学術雑誌等への投稿への支援 申請者1名 申請合計額50千円 <辞退>
    - 3：学術出版物の刊行への支援 申請なし
  - Ⅱ型3：外部資金に関わる教育研究の推進
    - 1：科学研究費補助金に関わる継続的研究への支援  
申請者1名 申請合計額100千円 採択者1名 採択合計額100千円
    - 2：自治体等の補助金に関わる研究への支援 申請なし
- ・学長裁量経費Ⅲ型（教育支援）
  - Ⅲ型1：公開講座等の教材開発に関わる支援  
担当者4人 計50千円
  - Ⅲ型2：地域との連携による講座等の教材開発に関わる支援  
担当者7人 計100千円
- ・学長裁量経費Ⅳ型（特別支援）
  - Ⅳ型1：特任助手に対する研究費の支援（1人当たり100千円）  
支援者3人 計300千円
  - Ⅳ型2：特任教員（非常勤）に対する研究費の支援（1人当たり50千円）  
支援者4人 計200千円
  - Ⅳ型3：新任教員に対する研究費の特別支援（1人当たり50千円）  
支援者6人 計300千円

## 1 2. 教職員の研修状況

- (1) FD研修（高等教育開発センター主催）
  - ・学内研究会 3回開催（6/2、9/1、2/2）
- (2) SD研修（SD委員会主催）
  - ・学内研修会 4回開催（職員研修：8/17、管理職研修8/19、若手職員研修8/19、障がい者支援を学ぶ研修会：8/25）
- (3) 地域連携教育研究センター主催
  - ・学内研究会 4回開催（7/7、8/4、9/1、10/6）

## 1 3. 短大生調査2016の状況

- ・調査実施日 11月10日(木) ( )内は前年度人数
- ・調査対象者数616名(607名) 回答者数584名(563名) 回答率94.8%(92.8%)

## 1 4. カリキュラムの変更等

- ・共通科目
 

名称変更	5科目	計7単位
新設科目	5科目	計7単位

・生活学科			
専門科目における新設	9 科目	計 12 単位	
専門科目における必修選択の変更(必修→選択)	5 科目	計 10 単位	
専門科目における単位数の変更(2 単位→1 単位)	1 科目		
教職専門科目における廃止	4 科目	計 9 単位	
・幼児教育保育学科			
専門科目における新設	5 科目	計 10 単位	
専門科目における名称変更	3 科目	計 3 単位	
専門科目における必修選択の変更(必修→選択)	1 科目	計 1 単位	
・ビジネスコミュニケーション学科			
専門科目における新設	2 科目	計 2 単位	
専門科目における廃止	2 科目	計 4 単位	

## 1 5. 大学及び自治体等との連携事業

- (1) 滋賀医科大学との共催講座：7/23
  - ・午前：講演（滋賀医科大学担当）
  - ・午後：調理実習（滋賀短期大学担当）
- (2) 滋賀大学教員免許状更新講習：8/8
  - ・選択講座における幼児教育領域の2 講座を担当
- (3) 滋賀県保育協議会との連携講座（家庭的保育事業等研修）
  - ・基礎研修：7/24、7/31、8/21、9/3 於 滋賀短期大学
- (4) 地域移動講座
  - ・7 会場開催（甲賀市、長浜市、高島市、東近江市、近江八幡市、守山市、大津市）
- (5) 図書館連携講座
  - ・大津市立和邇図書館 2 回開催（8/20、9/17）
  - ・大津市立北図書館 2 回開催（10/15、1/21）
- (6) 地域との課題解決型実習
  - ・生活学科と滋賀県農政水産部水産課との連携  
「びわ湖の魚を使った親子料理教室」を実施：3/19
  - ・ビジネスコミュニケーション学科・生活学科と道の駅との連携  
国土交通省の協力のもとに「道の駅竜王かがみの里」と連携企画型実習を実施：9/18

## 1 6. 公開講座の開催

- (1) こども講座（第 10 回）
  - ・6 講座 延べ開講日数 11 日（8/8、8/10） 受講者総数 88 名
- (2) すみれキャリア講座（第 19 回）
  - ・8 講座 延べ開講日数 16 日（8/6～9/14） 受講者総数 124 名
- (3) 淡海文化講座（第 30 回）
  - ・4 講座 2 日間（10/11、10/14） 受講者総数 33 名

## 1 7. 研究紀要および地域連携年報の刊行

- (1) 研究紀要第 42 号
  - ・学術論文 9 編、研究ノート 3 編、延べ投稿者数 18 名、印刷部数 400 部
- (2) 地域連携年報第 4 号

- ・調査研究プロジェクト7編、地域との教育研究活動21編、地域に向けた公開講座3編、大学及び自治体等との連携事業5編、高大連携事業2編、資料（新聞などに掲載された記事（平成28年1月～12月））、印刷部数400部

## 18. 図書館の整備

- ・授業期間中は8時30分から19時まで開館し、実習期間中は土曜日も開館
- ・図書館の外部者利用の体制と整え、本格的に地域住民への開放を開始
- ・Web上に「滋賀短期大学学術情報リポジトリ」を設置し、過去5年間の紀要掲載論文を公開

## 19. 補助金の獲得状況

- ・私立大学等改革総合支援事業（タイプ1 教育の質的転換） 9,850千円
- ・私立大学等改革総合支援事業（タイプ2 地域発展） 7,505千円
- ・私立大学等経営強化集中支援事業（タイプA） 18,761千円

目的別

- ・活性化設備整備事業補助 10,709千円（工事費 14,979千円）
- ・教育研究施設整備計画補助 6,264千円（工事費 12,528千円）

※平成28年度補助金獲得ランキング：短期大学304校中の33位（前年度28位）

- ・中小企業等の省エネ促進事業費補助金 2,630千円（工事費 11,116千円）

## 20. 施設・設備の整備状況

- ・222 教室改修工事 12,528千円
- ・222 教室備品関係 14,979千円
- ・トイレ改修工事（1・2・3号館） 12,014千円
- ・給水配管更新工事 10,350千円
- ・玄関アプローチ改修工事関係 2,560千円

## <高等学校>

### 1. 学習（体験）活動

#### ア 福祉体験

1年生Ⅰ類が9月28日（水）～30日（金）と10月5日（水）～7日（金）に13の高齢者福祉施設と7保育所・幼稚園にて保育・介護体験学習を行った。また、人間総合科は今年度新たに、9月28日（水）～30日（金）と10月5日（水）～10月7日（金）に大津草津市内の28店舗事業所で職場体験を行った。

1年生2年生の人間総合科が附属幼稚園および本校で保育体験学習を行い、3年生の人間総合科が朝日が丘保育園・逢坂保育園・逢坂幼稚園、大津さくらこども園で保育体験学習を行った。

#### イ 伝統文化体験

人間総合科：浴衣製作と着付けを通して和装の特徴を学び、茶道では「客の心得」の体験学習を行った。

フレッシュ講座伝統文化分野で剣舞を選択体験させた。

#### ウ 国際理解教育講演

台湾の私立内思高級工業職業学校（生徒26名、教員3名）の訪問を2月21日（火）に受け、歓迎式・交流会（1年生Ⅱ類）・校舎案内・部活動体験などで交流を深めた。

フレッシュ講座「国際交流」：毎回日本で活躍されている各国（アメリカ、ブラジル、ポルトガル、スコットランド、韓国など）出身者を講師として招き、出身国の特徴を知り、様々な国と人と交流することで異文化を理解した。

#### エ フレッシュ講座

教師が得意とする分野や外部講師を招いて、講座（34講座）を開講し、生徒はそこから挑戦したい講座を選び1年間学ぶ。剣舞、保育講座、国際交流などは外部講師、ボランティア活動、スポーツ、科学、数学、文学、語学、美術、各種検定から物づくりなど日常の教科学習では学べない幅広い分野で実施している。

#### オ 全校生徒のスポーツ活動、文化活動

- ・スポーツフェスティバル：6月30日 竜王町ドラゴンハットにて開催
- ・文化祭：7月15日 大津市民会館、7月16日 本校にて開催
- ・踏破：3月14日 琵琶湖岸・瀬田川岸を各自歩行能力に合わせて、16km（唐橋折返）・21km（京滋バイパス折返）・26km（洗堰折返）の歩行距離から選択する
- ・すみれピック：3月17日 球技3種目、文化的競技5種目で開催

#### カ 宿泊体験・校外体験学習

○年度初めの各学年学科類型の体験学習は以下のとおり

- ・1年生：4月10日～12日に、教師と生徒、生徒相互の人的なふれあいを体験し、集団生活への適応を図ることを目的として、若狭湾青少年自然の家にて2泊3日の宿泊研修を実施。
- ・2年Ⅱ類：英語を中心とした校内学習合宿（4月11日から2泊3日）
- ・2年Ⅰ類：人と防災未来センターでの防災学習と神戸市内班別自主研修（4月13日）
- ・2年人間総合科：生涯を見通した生活設計と家計管理をシミュレートする生活設計とマネープランゲーム校内で実施。（4月13日）
- ・3年Ⅱ類・一般入試クラス：大学見学会（4月13日）

○人間総合科の体験学習

- ・1年生：人間総合科は今年度新たに、9月28日（水）～30日（金）と10月5日（水）～10月7日（金）に大津草津市内の28店舗事業所で職場体験を行った。

- ・2年生：人と防災未来センターでの防災学習と神戸市内班別自主研修（4月13日）  
フォトデザイン会社から専門家を招き、4コマ写真の構成と撮影を通して料理をはじめファッションなどのストーリーを伝える学習活動を行う。（3年生同時開講）  
乳幼児の健全な成長と遊びや意欲・能力について体験実習を通じて学習する。（6月23日 滋賀短大附属幼稚園）  
附属幼稚園でプール遊び（年長年中）と水遊び（年少）を中心に着替えや昼食（準備を含む）の保育体験実習を行う。（6月23日）  
フラワーアレンジメントを科目「フードデザイン」の中でテーブルマナーとテーブルコーディネート学習として実習を行った。（2月15日日比谷花壇南常隆氏ほか2名）  
校内菜園での米野菜栽培とそれらを食材とした調理実習と茶葉からほうじ茶（番茶）作りで伝統的保存食自然食の知恵と工夫を知る。
- ・3年生：家庭看護や高齢者介護など福祉に関する職業への関心を高めるための介護実習（着脱介護・歩行介助など）を行う。（5月20日）  
附属幼稚園年中児49名を6班に分け、ライフデザイン類型生徒がお絵描きや工作、ゲームなど手作りの遊びを工夫し園児とふれあい、家庭科科目「子ども文化」の学習を行う。（6月22日高校にて）  
乳幼児の擁護と集団保育の意義を遊びや児童文化財の利用方法から学習する。（6月29日、11月2日、11月16日に近隣の幼稚園・保育園・こども園で実習）  
認知症サポーター養成講座（11月18日、大津市長寿政策課平野氏）
- ・学習成果発表会：3年生の家庭科学習の集大成として、ファッションショー・各分野での学習成果を発表・茶会の3本立てで実施。2年生を前に事前学習として聴講させている。
- ・針供養：12月6日に創設当時からの歴史と伝統を受け継ぎ、物作りの技術と大切さ、技術の向上を祈願する。
- Ⅱ類の体験学習
  - ・2年生が大阪で開催された「生徒夢ナビライブ（大学発見）」で1時間毎の学部学科別体験学習講座に参加し、大学での学びを体験した。（6月18日）

## キ 実践講座

3年生Ⅰ類の総合的な学習の時間として毎週金曜日の午後に、高校単独（各種体験・105名）と高短連携（滋賀短大・25名）に分かれて「現代社会を知り、未来につなげる学びの時間」として実施。この講座は、体験活動を通し達成感や充実感を感じ取るとともに、自己の進路を模索する活動に結びつける。また、問題解決能力を育成し、自己のあり方と生き方を考える。2週で1講習（事前学習・体験活動・事後学習）とし、11月に整理とまとめ、12月に2年生を交えて発表する。高校単独では、マナー・交通安全・救命救急・金融・労働・裁判などをテーマにし専門家を招いた体験学習を行う。高短連携では、滋賀短大で各学科の体験学習を中心に短大での学びを知るとともに受験アドバイスを含めた体験学習を行う。

## ク 防災避難訓練

大津市シェイクアウト訓練 2016 を実施した。これは大津市が広域参加を呼びかけている取り組み。生徒には事前予告なしに大地震が発生したと想定し、放送によって1分間の防災訓練とした。観察記録をとり反省を行った。

不審者が校内に侵入したと想定し、体育館に避難する訓練を抜き打ちで実施した。また、会場で期限切れ間近の防災用ビスケットを1箱ずつ配布した。（3月13日）

## ケ 18歳選挙権を意識した生徒会役員選挙

大津市選挙管理委員会から投票箱と記載机など一式を借用し、投票者名簿確認と投票用紙

交付と立会を行う本格的な投票形式を体験させている。数年前から実施しているが、本年度から実施された18歳選挙権に関する学習の一環とした。

## コ 講演（啓発）活動

1年生対象 薬物乱用防止講演（10月12日） 大津警察署 小谷江実子氏  
全学年対象 創立記念行事記念講演（5月9日）に「私たちが今伝えられること。」と題して、後輩に伝えたいことをパネルディスカッション形式で実施。本校卒業生教員松永稜教諭（英語）・栗谷春日教諭（英語）・志垣健一講師（数学）をパネラーに、加藤陽介教諭が司会を行った。

**芸術鑑賞**（11月9日）ではシンガーソングライター西浦達夫氏が高校野球中継エンディングテーマ曲を挿入しながら夢や感謝の気持ち努力することをテーマの講演。

**人権講演**（5月31日）「盲導犬ユーザーからのメッセージ」前田眞里氏（盲導犬ユーザー）が視覚障害者との共生と盲導犬の役割や私たちにできることを講演。

**人権共同映画鑑賞**（10月25日）「あん」（元ハンセン病患者の生き方）

**職員対象人権研修**（2月15日）講演「部落問題学習」矢野健三氏（草津新田会館教育担当）

## サ 国際交流

### ・ニュージーランド語学研修

7月29日～8月20日の3週間オークランド市で地元の語学学校で9時から15時まで授業を受け、個々の家庭でホームステイ体験を行った。今年度は4名が参加した。

### ・ニュージーランド3ヶ月短期留学

2名の生徒が1月13日～3月26日の期間オークランド市の家庭でホームステイをしながら、語学学校で英会話を身につけた後、現地の高校で学習した。この学習は帰国後の単位として認められ、3年生に進級した。

### ・海外研修

10月上旬に2年生海外研修旅行としてⅡ類はシンガポールホームステイ、Ⅰ類・人間総合科はマレーシア・シンガポールを実施予定（3泊5日）であったが、テロ事件等が起り安全面を確保するために行き先を急遽変更した。

検討の結果、台湾（台北市とその近郊）と久米島と沖縄本島の2コース選択によって実施した。台湾（生徒の約55%）沖縄久米島（生徒の約45%）とほぼ理想的な選択人数となり12月17日～20日（3泊4日）の日程で無事終えることができた

### ・オンライン英会話ウエブリオ（weblio）

パソコンのテレビ電話機能を利用したマンツーマン式の英会話で、有名大学を卒業したフィリピン人ネイティブスピーカーと約30分間会話をした。英語の授業や放課後の講座で実施した。

### ・台湾高級中学校との交流

台湾の私立内思高級工業職業学校（生徒26名、教員3名）の訪問を2月21日（火）に受け、歓迎式・交流会（1年生Ⅱ類）・校舎案内・部活動体験などで交流を深めた。

## シ エコフオスター活動

滋賀県が実施する淡海エコフオスター事業に参加し、毎月1回1年生各クラスで校外清掃活動を行う。さらに、フレッシュ講座「地球にやさしく」でも実施した。

## ス 環境教育

地球温暖化問題の一環としてグリーンカーテンの効果について学習し、ゴーヤ30株をプランター等に植える活動を、人間総合科2年生家庭科「栄養」の授業とフレッシュ講座「コミュニティ」の共同で行った。（6月8日、関西電力（株）「植樹活動」からゴーヤ苗の提供を受ける）

## セ 踏破

1年生2年生の全員が長距離を歩行し忍耐力を養うとともに、集団行動や公衆道德について学び、また、滋賀の自然や文化と環境を学ぶ。コースは学校→瀬田唐橋西詰→南郷洗堰→瀬田唐橋東詰→近江大橋→学校で16km(唐橋コース)・21km(バイパスコース)・26km(洗堰コース)から体力に応じて選択。(3月14日)

#### ソ すみれピック

生徒会主催のゲーム大会で、運動系ではソフトバレーボール・ドッジボール・バドミントンを、文化系ではUNO・オセロ・百人一首・トランプ・人生ゲームを行い優勝を争う。(3月17日)

#### タ その他のボランティア活動

- ・熊本地震災害義援金募金活動を生徒会役員と各部有志部員によって4月25日は学校にて、4月26日～28日の3日間はJR大津駅北口にて実施し、4日間で501,343円を集め、5月6日に日本赤十字社滋賀支部に送金した。
- ・フレッシュ講座「地球にやさしく」: 選択者によるユニセフと日本赤十字社の募金活動(上記活動)、リサイクル活動、校舎内外清掃活動、草花による園芸活動。
- ・人間総合科では1年生～3年生の希望者に、保育職を体験することで職業選択を考える一助とし、職業人としての責任感と社会貢献する喜びを持たせることを目的に保育ボランティアを今年度から実施した。家庭科教員の指導の下、事前の説明会と研修を実施した。その後、1月31日～3月31日の期間に週1～2回の放課後(15:40～17:40)近隣の市立逢坂保育園・市立朝日が丘保育園・大津さくらこども園の3園に分かれて16名が参加した。

#### チ ICT 機器職員研修

ICT教育推進に当たり、自立学習応援プログラム「すらら」を導入することになり全職員対象に2回の研修を実施し、次年度早期の使用を目指す。(1月27日、2月24日)

## 2. 進路指導

### ア 3年生保護者進路説明会を実施

全体会として昨年度進路結果と本年度進路計画、学級担任と個別懇談(希望者約90名)(5月21日)

- ・3年生就職希望者を対象に、キャリアガイダンスと面接指導を7月21日から8月1日にかけて4回夏休み中に実施。【大津ハローワークとさんぼう】
- ・2年生全員が分野別ガイダンス(学部学科別)に臨んだ。12大学(短大含)8専門学校1就職の21分科会2ローテーションで実施し、進路選択の基礎知識とした。(5月25日)
- ・2年生では17大学(短大含)6専門学校1就職の24ブースを設置し、生徒が3ローテーションで各ブースを回って説明を聞き、具体的な進路選択ができるように学習した。(3月18日)
- ・1年生では「プロフェッショナルに学ぶ職業講演」と題して16の職業分野(各教室での分科会)で活躍されている方(卒業生含)を招いて、仕事への情熱と思い・職業の特徴と専門知識・職業選択と決定と高校生活のあり方などを語っていただいた。(3月18日)

### イ 普通科Ⅰ類に一般入試クラス設置

Ⅰ類から4年生大学への進学者が増加したのを受け今年度から1学級(31名)設置した。Ⅱ類と同じ教育課程で展開し履修することで進学への意識を高めた。また、後述する校内塾にほとんどの生徒が入塾しており、タイアップした進路指導を展開した。その結果、30名がセンター試験一般試験で受験し、1年目として成果があった。

### ウ 校内塾

前年度春休みから希望者対象に事前開講したのを受け、4月から本格的な活動を展開した。3年生から43名が入塾し、専属の正副塾長（教諭）を中心に水曜日を除く授業日の放課後15時30分（土曜日は13時30分）～19時まで集中的に学習指導を行った。センター試験一般試験に向けて計画的に取り組み、希望大学に納得のいく形で進学できた。

### エ 職員研修

「新しい教育に向かう先生方へのメッセージ」と題して、生徒への熱い進路指導と高大接続「新テスト」・最新入試情報について研修する。（駿台予備校講師今中一雄氏、6月13日）

### オ 卒業生の進路決定状況

大学	短大	専門・各種	就職	その他	合計
103名	66名	55名	17名	4名	245名

## 3. 施設・設備の充実

ア 職員室の塗装	1,879千円
イ 3号館外壁塗装	15,212千円
ウ 3号館3階女子トイレ改修	18,800千円
エ 全館ホームルーム教室・学習室の黒板をホワイトボードに改修	2,376千円
オ 2号館3階4階教室LAN環境整備	2,862千円
カ 独立行政法人水資源機構職員寮購入に伴い「和心館」と命名	
キ クラブ関係機器備品（寄付金の一部充当）	約5,000千円

## 4. 生徒募集関係

◆中学校・塾訪問（滋賀県98校、京都6校、塾392校）年5回

ア 6月、8月、11月に生徒・保護者対象のオープンスクール開催と10月、12月に生徒保護者対象の学校説明会を開催し、1092名の参加者（生徒682名、保護者410名）があった。

イ 塾対象の入試説明会2回実施（4月、9月）

ウ 滋賀の私立学校展に参加（イオンモール草津 8/27,8/28 彦根ビバシティ 8/21）

エ 中学校主催入試説明会に参加（22校）

オ 塾主催の進学説明会に参加（4校）

カ 中学校教員対象説明会1回実施（6月）

キ 平成29年度入試状況と入学者数

区分	入試結果と入学者数			合計
	専・併	普通科	（男子内数） 人間総合科	
志願者数	専願	101 (52)	39 (0)	140 (52)
	併願	1,017 (432)	126 (1)	1,143 (433)
	合計	1,118 (484)	165 (1)	1,283 (485)
合格者数	専願	97 (48)	39 (0)	136 (48)
	併願	995 (412)	123 (0)	1,118 (412)
	合計	1,092 (460)	162 (0)	1,254 (460)
入学者数	専願	97 (48)	39 (0)	136 (48)
	併願	87 (38)	10 (0)	97 (38)
	合計	184 (86)	49 (0)	233 (86)

普通科Ⅱ類 志願者数 550人（内男子212人）

入学者数 69人 (内男子 25人)

## 5. 体育クラブの活動 (主な成績)

- 全国高校総合体育大会出場
  - バドミントン女子
  - バレーボール女子
- 全国高校選抜大会
  - バスケットボール女子
- 全国高等学校選抜バドミントン大会
  - バドミントン女子
- 近畿大会
  - バスケットボール女子ベスト8、バレーボール女子、バドミントン (団体ベスト8、単ベスト8、複ベスト16)、ソフトテニス女子 (団体)、バレーボール女子、剣道男子、ソフトテニス女子
- 県内等各種大会結果 (主なもの、団体ベスト8以上、個人ベスト16以上)
  - ・バスケットボール女子
    - 春季高校総体準優勝、秋季高校総体優勝
  - ・バドミントン女子
    - 春季高校総体 (団体優勝、単優勝・2位・3位・4位、複優勝・2位・5位・ベスト8)
    - 秋季高校総体 (団体優勝、単優勝・2位、複優勝・2位・3位)
  - ・バレーボール女子
    - 春季高校総体優勝、秋季高校総体ベスト8
  - ・ソフトボール女子
    - 春季高校総体3位
  - ・陸上競技男子・女子
    - 春季高校総体 (男子1500m決勝進出、女子砲丸投7位、女子走幅跳8位)
    - 秋季高校総体 (女子砲丸投げ5位)
  - ・ソフトテニス女子
    - 春季高校総体団体ベスト16、秋季高校総体団体ベスト8
  - ・剣道男子
    - 春季高校総体ベスト8
  - ・硬式野球部
    - 春季大会 (1回戦敗退)、選手権大会県予選 (1回戦敗退)、秋季大会 (1回戦敗退)、1年生大会 (2回戦敗退)
    - 第98回全国高等学校野球選手権大会滋賀大会 (ベスト4)
    - 平成28年度秋季近畿地区高等学校野球滋賀大会 (ベスト8)
  - ・バスケットボール部男子
  - ・ソフトテニス部男子
  - ・剣道部男子・女子
  - ・卓球部男子・女子
  - ・硬式テニス部女子

県高校総体出場

## 6. 文化クラブの活動

- ・吹奏楽部
  - 県高文祭参加、滋賀県吹奏楽祭参加、県吹奏楽コンクール銀賞、県高等学校総合文化祭

吹奏楽部門参加、県アンサンブルコンテスト銅賞、第7回定期演奏会実施  
入学式、オープンスクール、逢坂学区子ども祭等で演奏

- ・軽音楽部  
大津駅前ライブ、日本赤十字社献血啓蒙ライブ、オープンスクールで演奏、野洲コンテスト、なぎさ公園ライブ、草津駅前ライブ、新年ライブ（石山ユーストン）
- ・書道部  
近江神宮全国献書大会（入賞10）、高円宮杯日本武道館書写書道展（入賞5）、全日本書き初め大覧会（入賞5）、高野山競書大会（入賞3）、伊勢神宮奉納書道展（入賞6）、全国学生比叡山競書大会（入賞6）、滋賀県硬筆作品展覧会（入賞4）
- ・家庭部  
保護者と教師の会「すみれサロン」（授業参観と会員懇親会）で菓子を提供、焼菓子チュロス販売（家庭部活動の広報と商品開発から販売までを学ぶ、3月8日と9日午後、150円）、中学校PTAの本校訪問（学校見学）時の菓子提供
- ・ダンス同好会  
「NAKAMA PROJECT」（なかまプロジェクト）に参加：ダンスチーム Beat Buddy B oi (BBB) とダンス交流をする。（全国を回る企画）、すみれピックオープニング

## 7. スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール

- ・文部科学省が主催する平成29年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（研究開発指定校）に人間総合科・家庭科が応募すべく、その準備を行い申請したが採択されなかった。引き続き、平成30年度採択に向け平成29年も準備を進めていく。
- ・主な内容：研究のねらい 近年、男女の別なく子育てに関わる意識が若い世代を中心に広がり、生徒と家族が直面する課題となっている。そこで、高校生から高齢者までの全世代が関わる保育を創造することをテーマに掲げた。保育の知識を学び、ワークライフバランスを考え充実した人生を送る足がかりとするとともに、不安を抱える子育て世代を支援することで、学校が保育のノウハウを伝える地域の拠点となることを目指す。  
研究開発課題 「しがたん・新時代の子育て・パパママ応援プロジェクト～ 人口減少社会における、地域と連携した新たな保育の創造 ～」

- 研究概要
- 1 ベビーカフェ SMILE（すみれ）の開設（子育て支援）
  - 2 滋賀短期大学附属幼稚園での英語講座やリトミックダンス教室の実施（表現力を高める学習活動の提案）
  - 3 保育士育成に向けた保育実習（専門的知識・能力の習得）
  - 4 乳幼児の衣服の研究・企画・提案・販売（マーケティングの知識と実践的な技能の習得）

## 8. その他

- ・文部科学大臣表彰 北原 聡 教諭  
特別活動、部活動指導による児童生徒育成の分野での受賞（バスケットボール競技と同部の指導） 3月6日東京大学にて授賞式
- ・学校開放と地域連携  
＜バスケットボール教室＞  
小中学生から指導者までを対象に金曜日（指定日）の19時30分～21時に開催（参加者：平均30名、約40回）  
＜バレーボール教室＞  
小中学生から指導者までを対象に水曜日（指定日）の17時30分～20時に開催（参

加者：平均30名、約20回)

<天体観測会>

新たに購入した天体望遠鏡を使用し、近隣の小中学生と逢坂学区住民を対象に、本校理科教員が講師をつとめた（実施：12月14日、3月18日、参加者：約50名ずつ）

・身体障害者女子ボート<3年生 小原 友花>

2016パラローイング イタリア 混合舵付きフォア 出場

（リオネジャネイロパラリンピック予選として）

平成28年度滋賀県民スポーツ賞 受賞（障害者スポーツ協会推薦）

・クラシックバレエプリマ<2年生 北川 涼子>

下田春美バレエ教室創立40周年記念公演「コッペリア」全幕（7月22日びわ湖ホール大ホール）にて主役ダンサー（スワニルダ役）として出演

・ゴルフ

<3年生 吉本 ひかる>

関西女子アマチュアゴルフ選手権（4月21日～22日）

中部女子パブリックアマチュア選手権（5月10日～11日）

ルートイン上田丸子グランヴィリオ 優勝（6月18日）

日本女子アマチュア選手権 3位（6月24日）

<1年生 吉本 龍斗>

関西オープンゴルフ（5月19日～21日）

国民体育大会近畿ブロック大会（6月28日～29日） 団体5位

Japan Junior Golf All Star（10月13日～14日）

高校総体（10月27日～28日） 優勝

関西高等学校ゴルフ選手権夏季大会（6月25日～26日）優勝

関西高等学校ゴルフ選手権秋季大会（11月22日～25日）

全国高等学校ゴルフ選手権夏季大会（8月7日～8日）

全国高等学校ゴルフ選手権春季大会（3月26日～30日）

・女子サッカー<3年生 西中 麻穂>

2016プレナスなでしこリーグカップ2部

（セレッソ大阪堺レディース 対 アンジュヴィオレ広島 戦出場 6月11日）

U-18日本女子代表候補（日本サッカー協会 9月11日～14日）

JOCジュニアオリンピックカップ第20回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会においてセレッソ大阪堺ガールズより出場され、1月7日J-GREEN堺を会場として優勝した。セレッソ大阪レディース所属、全国大会優勝

・ジャグリング<3年生 木下 洸希>

びわ湖大津PR大使（7月28日～）

滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科進学

・税の作文<1年生 福島 諒>

大津税務署長賞受賞

・チアー&ダンス<1年生 杉崎 葵>

オーシーゴールド・インターナショナルチアー&ダンスチャンピオンシップ2016がオーストラリア・ゴールドコーストで開催され日本代表チームの一員として出場した。

（7月7日～13日）

- ・家庭科コンクール＜2年生 辰巳 侑莉那＞  
全国きものデザインコンクール金賞ジュニア高校の部（全国染色連合会 10月29日）
- ・ミスユニバース＜3年生 山口 成美＞  
ミスユニバース滋賀県代表

## <幼稚園>

### 1 平成29年度の園児募集の状況

- ・入園希望者 69人 (H28 85人・H27 64人・H26 71人・H25 80人)
- ・入園児数 54人 (3歳児49人・4歳児5人)

### 2 教育指導状況

- ・建学の精神、文科省教育要領を踏まえて、平成28年度教育課程大綱の作成と実践
- ・26年度全国幼児教育研究協会より環境の事例研究園に選ばれて継続実践
- ・「愉快に体力づくり」(12年次)～投げることに注目をして～研究実践
- ・英語の音を幼児期から聞くことの大切さに注目をして、年長クラスで毎日キッズ英語の実践
- ・預かり保育の実施 平成28年度実績 述べ 3,137人  
(27年度実績 3,604人・26年度実績 3,915人・25年度実績 3,271人)
- ・滋賀県学校歯科保健優良校表彰「優良校」受賞

### 3 教員の資質向上と研修

- ・園内研修を毎月2回程度、水曜日等を実施。
- ・夏季休業中は、全国幼児教育研究大会を初め各種の研修に積極的に参加。
- ・第1回幼児造形研究大会びわこ集会の会場園として、教育の質の向上に努める。
- ・近藤教諭が第60回全国小学校体育科教育研究集会(横浜)(幼少連携)で発表
- ・幼児教育の5領域、「環境」を中心とした学生の気づき、観察等の研究協力

### 4 滋賀短期大学幼児教育保育学科等の学生等受け入れ状況

- ・2回生の教育実習前期6月6日～10日の期間 後期9月1日～14日の期間 13人
- ・「幼児体育」選択の学生 火曜日、金曜日に46人
- ・生活学科の学生による「カレーライス」「竹の子ご飯」「秋の実りご飯」「お楽しみ給食」の提供による交流(カレーライス、竹の子、秋の実は緑の広場による収穫。カレーライスづくりの時は年長児は短大調理実習室において皮むき、包丁の使い方の実技指導を受ける)
- ・スポーツ教室、チャレンジ教室、折り紙教室等の実施。
- ・短大附属高校の家庭科学習内容に伴う受け入れ。

### 5 施設設備の整備改善

- ・森の小径整備 1,950千円
- ・手洗い場改修(年長) 1,058千円
- ・英語教育教材一式 1,075千円
- ・遊具点検修理 1,119千円
- ・緑の広場等環境管理費 324千円
- ・遊戯室排煙窓修理 994千円
- ・遊戯室カーペット張り替え605千円

## IV 平成28年度 決算概要説明

### 【学校法人会計基準について】

「学校法人会計基準」は、私学を取り巻く経営環境の変化等を受けて、公教育を担う学校法人の経営状態について、社会に対してよりわかりやすく説明できる仕組みを求めています。

こうした趣旨から改正された「学校法人会計基準の一部を改正する省令（平成25年4月22日文科科学省令第15号）」が文部科学省より公布され、平成27年度以後の会計年度に係る会計処理及び計算書類の作成から適用されることになりました。

### 【学校法人会計の概要】

学校法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い学校を運営し、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国・地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人です。学校法人の使命は、教育研究活動をとおして有為の人材を育成し、研究成果を社会に還元することにあります。このように、学校法人は企業とは異なり、利益の獲得を目的としていないため、損益計算を目的としている企業の会計処理では、学校の経営状態を把握することは難しくなります。そこで、学校の経営状況を把握するため、私立学校振興助成法に定める「学校法人会計基準」に従い、会計処理を行っています。

### 【計算書類】

国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、「学校法人会計基準」に則って、会計処理を行い、計算書類を作成しなければなりません。計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

#### ◇資金収支計算書

・当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての収入と支出の内容、並びに当該年度に係る支払資金の収入と支出のてん末を明らかにする計算書です。

#### ◇活動区分資金収支計算書

・資金収支計算書の決算額を「教育活動」「施設設備等活動」「その他の活動」の三つの活動区分ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにします。

#### ◇事業活動収支計算書

・当該年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容、並びに基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、経営状況を表します。

#### ◇貸借対照表

・年度末における資産及び負債、純資産（基本金・繰越収支差額）の内容、在り高を明示し、学校法人としての財政状況（ストック）を明らかにします。

### 【学校法人会計と企業会計との違い】

一般企業は利益を追求することを目的としていることから、企業会計では、利益の源泉となる収益とそれに費やした費用を正しくとらえるために損益計算書に重点が置かれています。

それに対して学校法人は教育・研究活動を目的としていることから学校法人会計では、教育研究活動を遂行するための資金の収入と支出を明らかにする資金収支計算書が大きな役割を占めています。さらに事業活動の収支の均衡状態を示す事業活動収支計算書と資産・負債・正味財産の状態を表す貸借対照表の作成も定められています。

	学校法人会計	企業会計
事業の目的	教育研究活動	経済活動（利益追求）
会計処理ルール	学校法人会計基準	企業会計原則
計算書類	資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表	キャッシュフロー計算書 損益計算書 貸借対照表
基本的財産	基本金（自己所有資産）	資本金（株主出資）
利害関係者	学費負担者、国、地公体等	株主、債権者、利害関係者等
利益処分	なし	あり（配当、社内留保金等）

【各計算書における勘定科目について】

○資金収支計算書、事業活動収支計算書の共通科目

学生生徒等納付金（収入）	学生生徒から納入された授業料・入学金・施設費等の収入です。
手数料（収入）	入学検定料や証明書発行手数料等の収入です。
寄付金（収入）	金銭等の寄付金で、事業活動収支計算書では現物寄付金を含みます。
補助金（収入）	国や地方公共団体等から交付される助成金です。
付随事業・収益事業収入	公開講座受講料や幼稚園の預かり保育料、通園バス料などの補助活動にかかる収入です。
受取利息・配当金（収入）	預貯金・有価証券の運用から得た利息や配当金などの収入です。
雑収入	退職金財団からの交付金収入や上記に含まれない収入で、学校法人に帰属する収入です。
人件費（支出）	教職員等に支給する給与や所定福利費等です。
教育研究経費（支出）	教育研究のために支出する経費です。
管理経費（支出）	総務・人事・経理業務や学生募集活動等、教育研究活動以外の活動に支出する経費です。
借入金等利息（支出）	借入金に係る利息として支出する経費です。

○資金収支計算書のみみられる勘定科目

資産売却収入	土地・建物・有価証券等の固定資産の売却収入です。
前受金収入	翌年度以降の諸活動に対応する収入を当年度中に資金収入したものの。具体的には、翌年度入学生に係る「学生生徒納付金収入」などです。
その他の収入	前期末の未収入金に係る収入や預り金受入収入など各収入科目に含まれない収入です。
資金収入調整勘定	資金の収入が前年度または翌年度に行われる収入項目のことです。具体的には「期末未収入金」や「前期末前受金」等です。
借入金等返済支出	借入金に係る返済のため支出する経費です。
施設関係支出	諸活動に使用する目的で取得する土地・建物・構築物等固定資産のため支出する経費です。
設備関係支出	諸活動に使用する目的で取得する教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書・車両・ソフトウェア等のため支出する経費です。
資産運用支出	学校法人の資産運用目的による支出です。
その他の支出	前期末の未払金支払支出など各支出科目に含まれない支出です。
資金支出調整勘定	資金の支出が前年度または翌年度に行われる支出項目のことです。具体的には「期末未払金」や「前期末前払金」等です。

○事業活動収支計算書のみにみられる勘定科目

資産売却差額	資産売却収入が帳簿残高を超えた場合、その超過額をいいます。
その他の特別収入	臨時的な収入である施設設備関連の補助金、寄付金、現物寄付です。
基本金組入額	学校法人が諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために事業活動収入のうちから組入れた金額です。
資産処分差額	資産の帳簿残高が資産売却収入を超えた場合、その超過額をいいます。また売却以外で除去損や廃棄損も含まれます。
徴収不能額等	未収入金で、当期において回収不能と判断した額をいいます。

○貸借対照表にみられる勘定科目

固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する資産をいいます。
流動資産	現預金等貸借対照表日後1年以内に使用する資産をいいます。
固定負債	長期借入金等、返済の期限が1年を超えて到来する負債のことでです。
流動負債	短期借入金等、返済の期限が1年以内に到来する負債のことでです。
基本金	<p>第1号基本金：学校法人が設立当初に取得した教育用の固定資産や新たな学校の設置・規模の拡大・教育の充実向上のために取得した固定資産の額をいいます。</p> <p>第2号基本金：将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額をいいます。</p> <p>第3号基本金：基金として継続的に保持し、かつ運用することでその果実を教育研究に使用する金銭その他の資産をいいます。</p> <p>第4号基本金：恒常的に保持すべき資金の額をいいます。</p>
繰越収支差額	過年度からの事業活動収支計算の結果、累積された当年度収支差額の収入または支出の超過額

## 【資金収支決算】

資金収入及び資金支出の合計は、それぞれ2,458,379千円で、予算（補正予算）より、50,672千円減少した。

予算との差異が大きかった科目の主因は次のとおりである。

資金収入の部において、学生生徒等納付金収入は補正予算編成における積算人数の差異及び授業料負担軽減額（就学支援金）の増額により1,065千円の減少となった。手数料収入は入学検定料が受験者数の減少等により1,359千円減少した。補助金収入は国庫補助金収入が短期大学において経営強化集中支援事業の加算及び改革総合支援事業の採択による教育研究活性化設備整備事業（222教室AL）費の増額となり23,112千円増加した。資産売却収入は、梅林寮の売却を見込んでいたが次年度に繰り延べたため60,000千円の減額となった。受取利息・配当金収入は、計画より運用が好転したことにより1,445千円の増額となった。雑収入2,074千円の増は、年度末退職者の退職金財団からの交付金の増によるものである。前受金収入2,080千円の減少は、平成29年度入学者数の積算数の誤差によるものである。資金収入調整勘定（期末未収入金）の増は、退職者の退職金財団から交付金の未収や高等学校及び幼稚園における滋賀県振興補助金の未収入等である。

資金支出の部において、人件費支出4,805千円の減は積算誤差（0.05%）によるものである。教育研究経費支出28,910千円の減は、消耗品費支出、保全改修費支出、業務委託費支出に大きな差異となった。いずれも予算編成における積算誤差、計画予算の縮小、経費節減である。特に高等学校における業務委託費におけるALTの委託費や通常の保全改修費等に予算との差異が大きかった。管理経費支出19,209千円の減は、計画予算の縮小や経費節減によるもの他、消耗品費支出1,095千円の減、業務委託費支出6,171千円の減、広告宣伝費支出3,220千円の減等によるものである。特に、100周年の事業経費として業務委託費に4,500千円を計上したが1,488千円の支出となり約3,000千円の減となった。設備関係支出1,497千円の減は、図書購入費の減である。資産運用支出11,883千円の増は、退職給与引当特定資産への積増し等を行ったことによるものである。予備費10,000千円のうち設備関係支出に3,557千円を含む7,014千円を支出した。

翌年度繰越支払資金は、予算額より2,970千円増の596,272千円となった。

## 【事業活動収支決算】

教育活動収支差額は、145,490千円となり、予算より95,504千円増額となった。

収入の部では、予算と比較して、寄付金で5,096千円、経常費補助金で27,381千円の増等により収入計では30,227千円増の1,798,254千円となり、支出の部では、予算と比較して、教育研究経費で44,391千円の減、管理経費で18,631千円の減等となり、支出計では65,277千円減の1,652,764千円となった。

教育活動外収支差額は、28,029千円となり、予算より1,445千円増額となった。

収入計は、予算と比較して、受取利息等で1,445千円増の29,782千円で、支出計は、私学振興共済事業団からの借入金利息の1,753千円である。

上記の教育活動及び教育活動外収支差額の合計、**経常収支差額**は、予算と比較して96,949千円増の173,519千円となった。

**特別収支差額**は、6,468千円の減となり、予算より75,520千円の減額となった。収入の部では、土地売却による資産売却差額、施設設備に係る寄付金や補助金によるその他の特別収入であり、収入計は、予算と比較して、土地の売却を次年度としたため60,000千円の減となりその他の特別収入が844千円増となり、26,196千円となった。一方、支出の部では機器備品等の除却による資産処分差額や退職給与引当金特別組入等のその他の特別支出による支出計は決算時における機器備品の取替更新による資産処分差額16,364千円を計上したことにより支出計は、32,664千円となった。

このことから、**基本金組入前当年度収支差額**は、予算と比較して27,322千円増加して、167,052千円となり、**基本金組入額合計**132,706千円を組入れた結果、**当年度収支差額**は、34,346千円となり、予算額△29,015千円が予算と比較して63,361千円好転した。

◆◆◆ 主要財務比率の経年比較表 ◆◆◆

比 率	算式 (×100)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	66.2%	69.2%	66.2%	61.0%	60.3%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	99.2%	107.6%	102.5%	97.0%	98.1%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	21.9%	22.8%	23.2%	23.9%	24.3%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.0%	5.4%	4.7%	4.7%	4.5%
帰属収支比率 (事業活動収支比率)	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	93.4%	97.7%	94.7%	90.7%	91.0%

注:平成27/28年度数値の算出について、従来の帰属収入を事業活動収入計に、消費支出を事業活動支出計に読替算出した。

◇◇◇ 新主要財務比率 ◇◇◇

比 率	算式 (×100)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収入}-\text{経常支出}}{\text{経常収入}}$	8.4%	9.5%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	62.3%	61.2%
教育活動資金収支 差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入}}$	12.2%	13.0%
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	75.4%	78.1%

※教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋調整勘定等

※運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

※要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金

【貸借対照表】

**資産の部合計**は5,407,743千円で、前年度末より163,700千円(3.1%)増加した。

その主な要因は、「**特定資産**」の減価償却引当特定資産の積増120,000千円及び第3号基本金引当特定資産の積増2,073千円と「**有形固定資産**」の和心館取得と減価償却による増減、「**流動資産**」の現金預金の増加と未収入金の増加等の結果によるものである。

**負債の部合計**は671,701千円で、前年度末より3,352千円減少した。

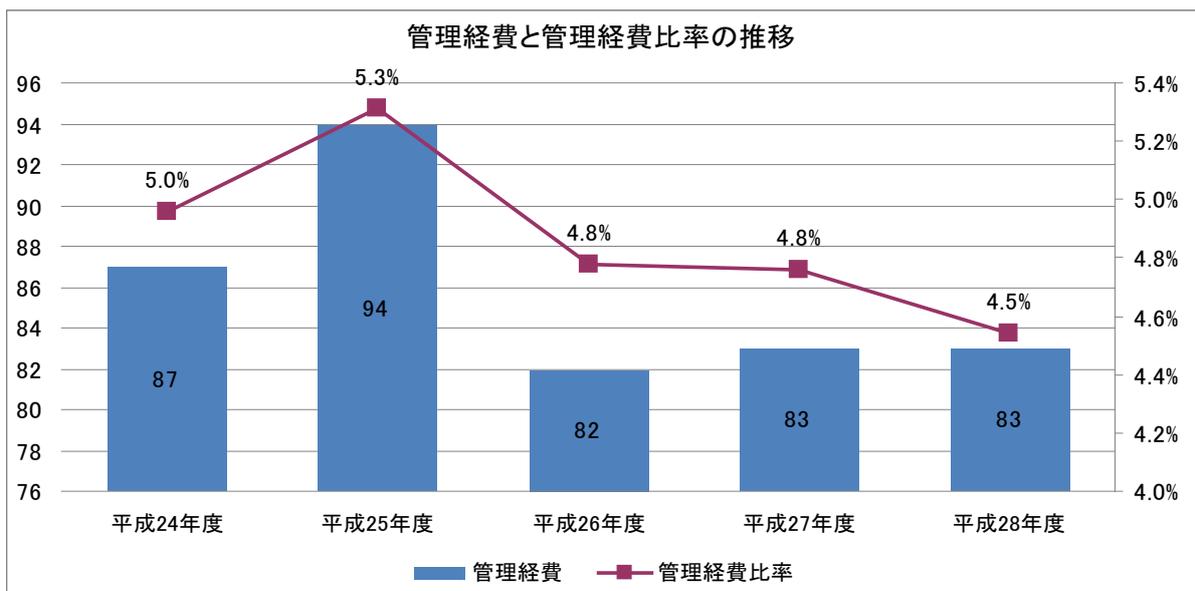
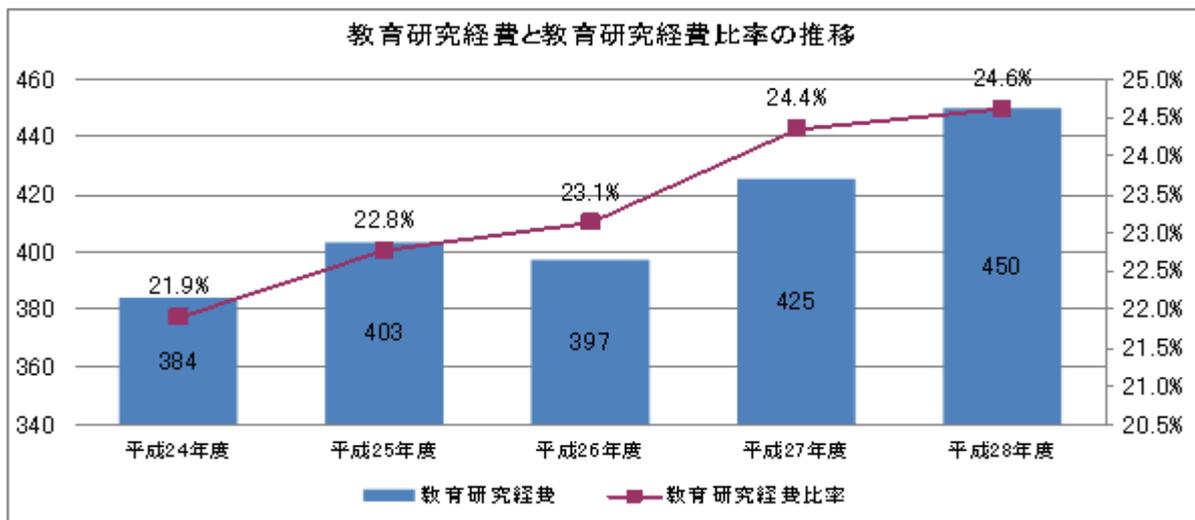
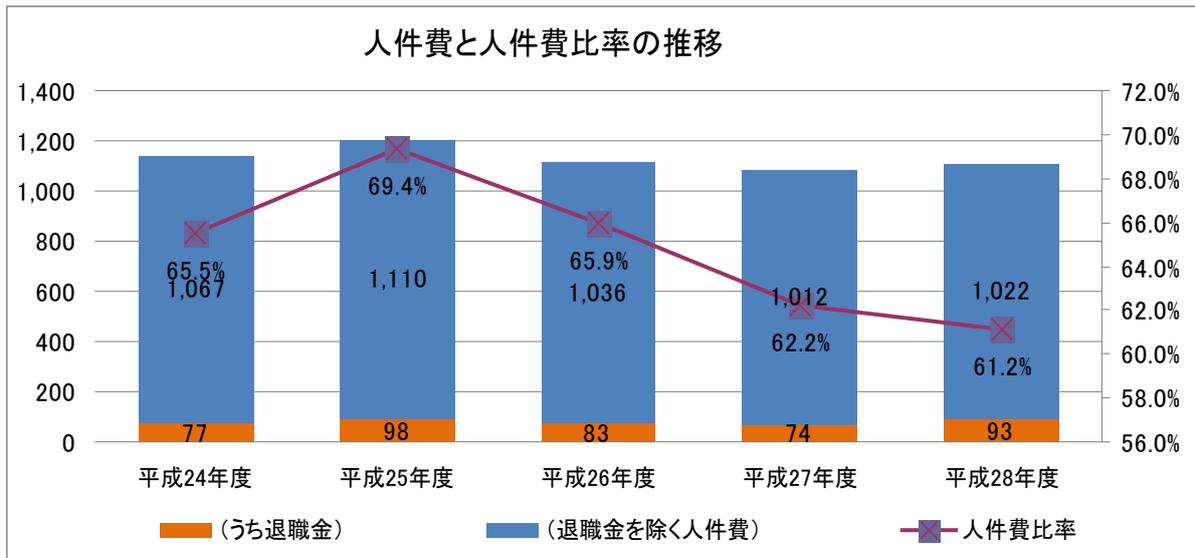
その主な要因は長期借入金の計画的返済による減少、未払金の増加、学生生徒等納金の前受金の増加、退職給与引当金の増加との相殺によるものである。

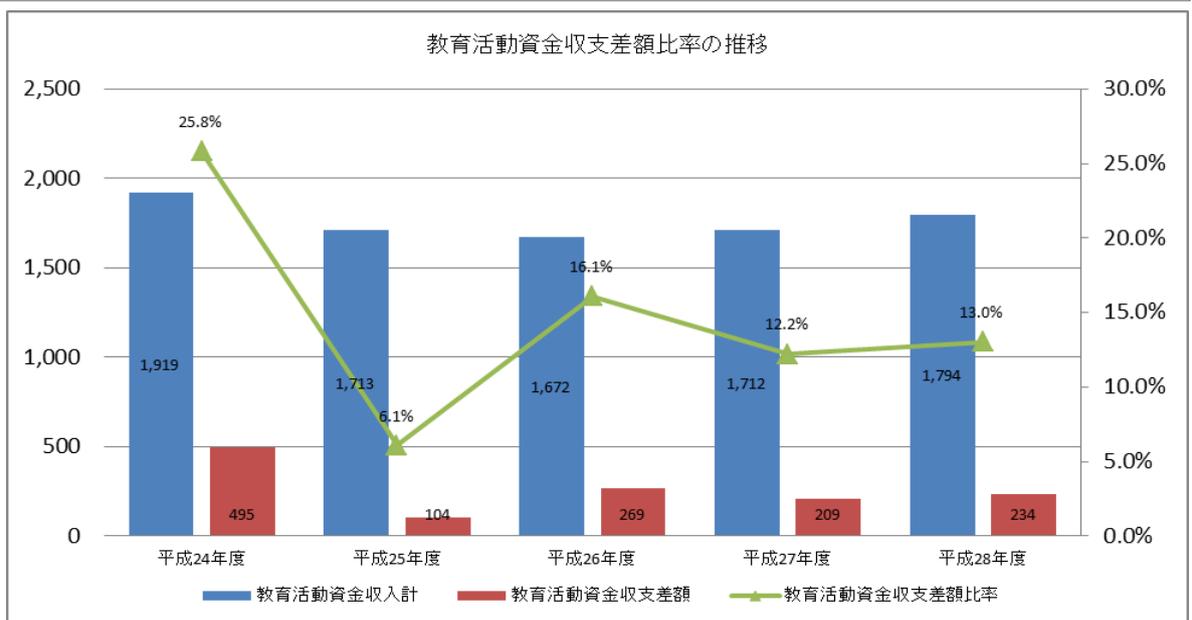
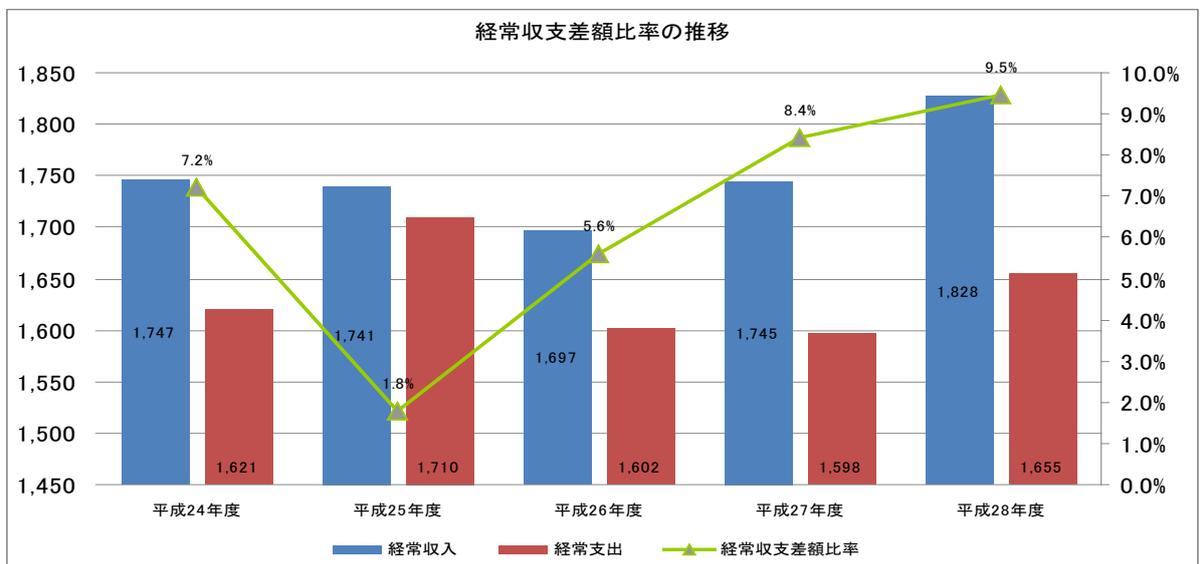
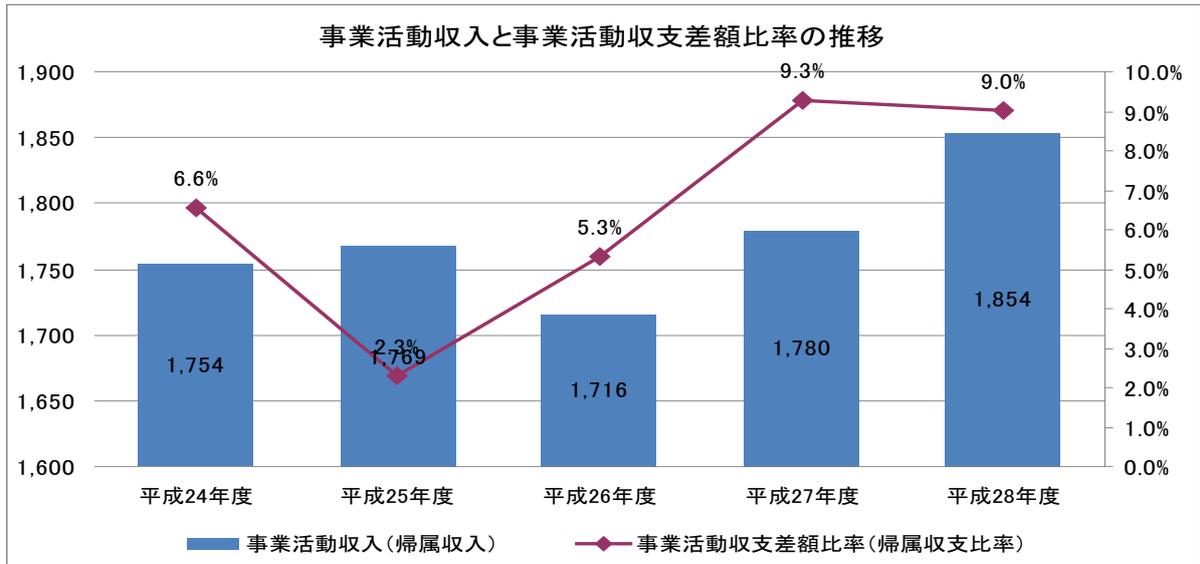
**純資産の部**は4,736,042千円で、前年度末より167,052千円増加した。

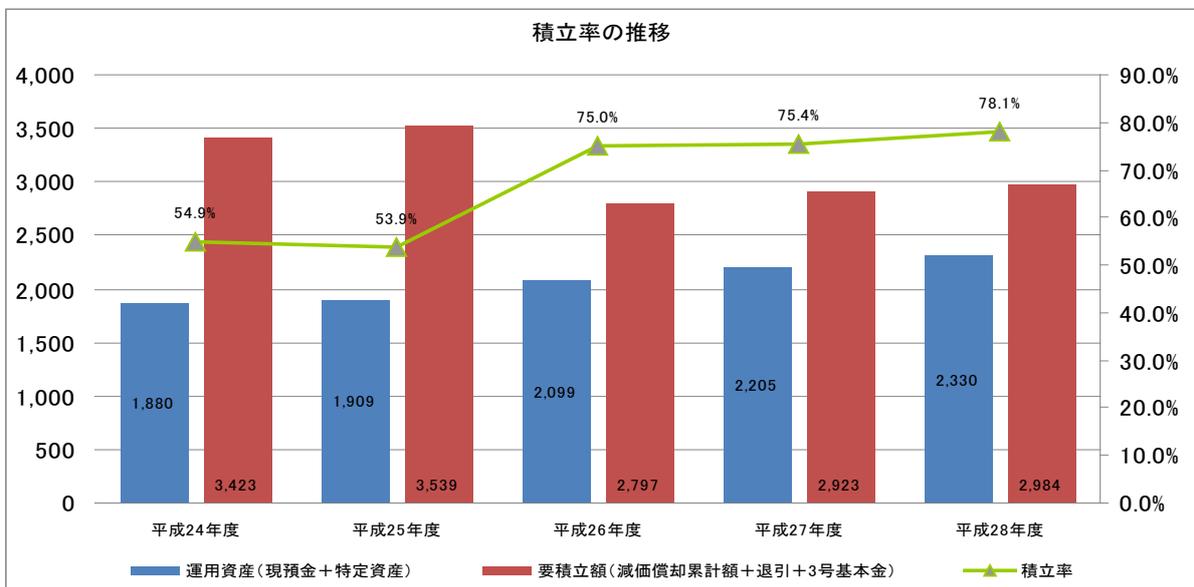
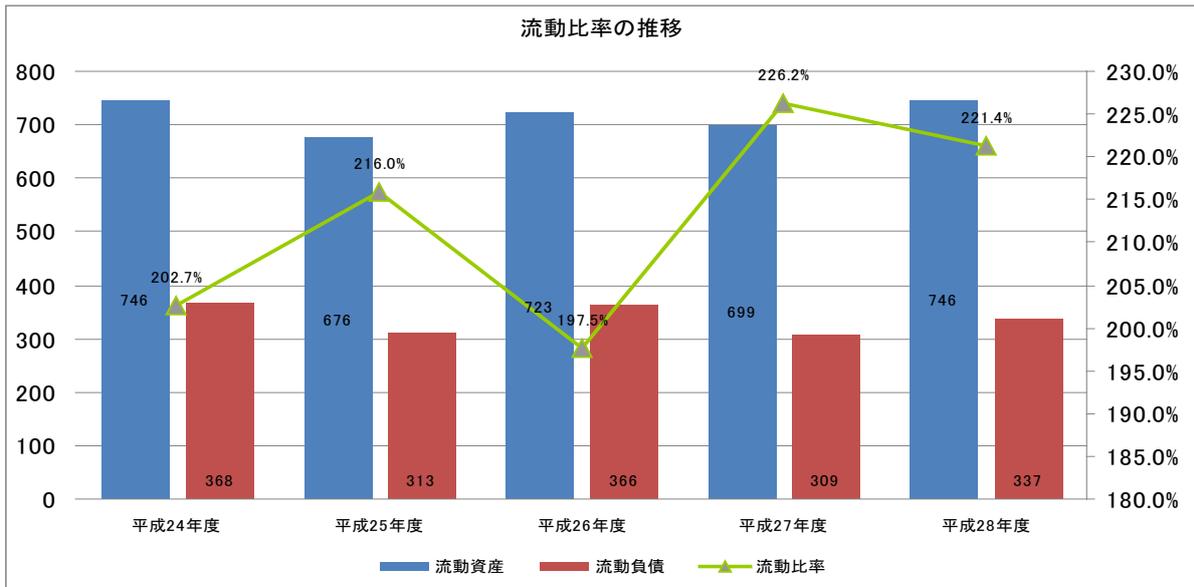
その主な要因は、基本金108,706千円の組入を行ったことと、翌年度繰越収支差額が58,346千円の収入超過となったことによるものである。

<参考>

比 率	算式 (×100)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	203.0%	215.9%	197.4%	225.7%	221.6%







第1表

## 資 金 収 支 計 算 書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

## 収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,140,689	1,139,624	1,065
手数料収入	38,298	36,939	1,359
寄付金収入	58,220	64,010	△ 5,790
補助金収入	441,512	464,624	△ 23,112
国庫補助金収入	129,502	153,132	△ 23,630
地方公共団体補助金収入	312,010	311,492	518
資産売却収入	60,000	0	60,000
付随事業・収益事業収入	5,960	6,113	△ 153
受取利息・配当金収入	28,337	29,782	△ 1,445
雑収入	102,781	104,855	△ 2,074
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	261,600	259,520	2,080
その他の収入	132,715	135,382	△ 2,667
資金収入調整勘定	△ 354,461	△ 375,870	21,409
前年度繰越支払資金	593,400	593,400	0
収入の部合計	2,509,051	2,458,379	50,672

## 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,130,221	1,125,416	4,805
教育研究経費支出	363,526	334,616	28,910
管理経費支出	98,057	78,848	19,209
借入金等利息支出	1,753	1,753	0
借入金等返済支出	35,530	35,530	0
施設関係支出	69,695	69,695	0
設備関係支出	58,297	56,800	1,497
資産運用支出	120,450	132,333	△ 11,883
その他の支出	49,096	49,096	0
〔予 備 費〕	2,987		2,987
資金支出調整勘定	△ 13,863	△ 21,980	8,117
翌年度繰越支払資金	593,302	596,272	△ 2,970
支出の部合計	2,509,051	2,458,379	50,672

注：予備費10,000千円の内7,013千円を使用した。

第2表

## 資 金 収 支 内 訳 表

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

## 収 入 の 部

(単位 千円)

科 目	部 門	滋 賀 短 期 大 学	滋 賀 短 期 大 学 附 属 高 等 学 校	滋 賀 短 期 大 学 附 属 幼 稚 園
学生生徒等納付金収入		707,218	395,408	36,998
手数料収入		10,932	25,794	213
寄付金収入		2,284	55,846	0
補助金収入		152,768	265,787	46,069
国庫補助金収入		152,653	479	0
地方公共団体補助金収入		115	265,308	46,069
資産売却収入		0	0	0
付随事業・収益事業収入		319	0	5,794
受取利息・配当金収入		10,802	7,491	871
雑収入		66,329	37,222	9
借入金等収入		0	0	0
計		950,652	787,548	89,954

## 支 出 の 部

(単位 千円)

科 目	部 門	滋 賀 短 期 大 学	滋 賀 短 期 大 学 附 属 高 等 学 校	滋 賀 短 期 大 学 附 属 幼 稚 園
人件費支出		552,528	454,982	73,950
教育研究経費支出		184,793	128,156	21,668
管理経費支出		47,260	21,930	1,254
借入金等利息支出		0	1,753	0
借入金等返済支出		0	35,530	0
施設関係支出		12,528	55,217	1,950
設備関係支出		46,542	8,857	1,294
計		843,651	706,425	100,116

第3表

## 活動区分資金収支計算書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収 入	学生生徒等納付金収入	1,139,624
		手数料収入	36,939
		特別寄付金収入	12,002
		一般寄附金収入	50,000
		経常費等補助金収入	444,541
		付随事業収入	6,113
		雑収入	104,855
	教育活動資金収入計	1,794,074	
	支 出	人件費支出	1,125,416
		教育研究経費支出	334,616
		管理経費支出	78,848
教育活動資金支出計		1,538,880	
	差 引	255,194	
	調整勘定等	△ 21,069	
	教育活動資金収支差額	234,125	
施設整備等活動による資金収支	収 入	施設設備寄付金収入	2,007
		施設設備補助金収入	20,083
		施設設備売却収入	0
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
		施設整備等活動資金収入計	22,090
	支 出	施設関係支出	69,695
		設備関係支出	56,800
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
		減価償却引当特定資産繰入支出	120,000
	施設整備等活動資金支出計	246,495	
		差 引	△ 224,405
	調整勘定等	3,156	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 221,249	
小計(教育活動収支差額+施設整備等活動収支差額)			12,876
その他の活動による資金収支	収 入	退職給与引当特定資産取崩収入	10,260
		預り金受入収入	21,548
		小計	31,808
		受取利息・配当金収入	29,782
		収益事業収入	0
		その他の活動資金収入計	61,590
	支 出	第3号基本金引当特定資産繰入支出	2,073
		有価証券購入支出	0
		借入金等返済支出	35,530
		退職給与引当特定資産繰入支出	10,260
		預り金支払支出	21,978
		小計	69,841
		借入金等利息支出	1,753
		その他の活動資金支出計	71,594
	差 引	△ 10,004	
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	△ 10,004	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			2,872
前年度繰越支払資金			593,400
翌年度繰越支払資金			596,272

第4表

## 事業活動収支計算書

平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,140,689	1,139,624	1,065
		手数料	38,298	36,939	1,359
		寄附金	57,220	62,316	△ 5,096
		経常費等補助金	417,160	444,541	△ 27,381
		付随事業収入	5,960	6,113	△ 153
		雑収入	108,700	108,721	△ 21
		教育活動収入計	1,768,027	1,798,254	△ 30,227
		科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	1,122,055	1,118,470	3,585
		内：退職給与引当	2,093	3,314	△ 1,221
教育活動支出の部	事業活動支出の部	教育研究経費	494,306	449,915	44,391
		内：減価償却	130,466	115,051	15,415
		管理経費	101,680	83,049	18,631
		内：減価償却	3,623	4,203	△ 580
		徴収不能額等	0	1,330	△ 1,330
		教育活動支出計	1,718,041	1,652,764	65,277
		教育活動収支差額	49,986	145,490	△ 95,504
教育活動外収入の部	事業活動外収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	28,337	29,782	△ 1,445
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	28,337	29,782	△ 1,445
		科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	1,753	1,753	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,753	1,753	0
		教育活動外収支差額	26,584	28,029	△ 1,445
		経常収支差額	76,570	173,519	△ 96,949
特別収入の部	特別収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	60,000	0	60,000
		その他の特別収入	25,352	26,196	△ 844
		特別収入計	85,352	26,196	59,156
		科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	0	16,364	△ 16,364
		その他の特別支出	16,300	16,300	0
		特別支出計	16,300	32,664	△ 16,364
		特別収支差額	69,052	△ 6,468	75,520
		〔予備費〕	5,892		5,892
基本金組入前当年度収支差額	139,730	167,052	△ 27,322		
基本金組入額合計	△ 168,745	△ 132,706	△ 36,039		
当年度収支差額	△ 29,015	34,346	△ 63,361		
前年度繰越収支差額	△ 1,108,562	△ 1,108,562	0		
基本金取崩額	0	24,000	△ 24,000		
翌年度繰越収支差額	△ 1,137,577	△ 1,050,216	△ 87,361		
(参考)					
事業活動収入計	1,881,716	1,854,232	27,484		
事業活動支出計	1,741,986	1,687,181	54,805		

注：予備費8,000千円の内2,108千円を使用した。

第5表					
事業活動収支内訳表					
平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで					
(単位：千円)					
科 目	部 門		滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
	教育活動	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	707,218	395,408
手数料			10,932	25,794	213
寄付金			1,447	54,846	143
経常費等補助金			133,164	265,308	46,069
付随事業収入			319	0	5,794
雑収入			69,330	37,222	324
教育活動収入計			922,410	778,578	89,541
事業活動支出の部		人件費	550,067	448,209	73,950
		内退職給与引当金繰入額	0	1,026	0
		教育研究経費	243,533	178,085	28,298
		内減価償却額	58,575	49,987	6,488
		管理経費	48,822	24,385	1,254
		内減価償却額	0	79	0
		徴収不能額等	1,330	0	0
教育活動支出計	843,752	650,679	103,502		
<b>教育活動収支差額</b>			<b>78,658</b>	<b>127,899</b>	<b>△ 13,961</b>
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	10,802	7,491	871
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	10,802	7,491	871
	支出の部	借入金等利息	0	1,753	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	1,753	0
<b>教育活動外収支差額</b>			<b>10,802</b>	<b>5,738</b>	<b>871</b>
<b>経常収支差額</b>			<b>89,460</b>	<b>133,637</b>	<b>△ 13,090</b>
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	22,632	3,564	0
		特別収入計	22,632	3,564	0
	支出の部	資産処分差額	14,838	511	231
		その他の特別支出	16,300	0	0
		特別支出計	31,138	511	231
<b>特別収支差額</b>			<b>△ 8,506</b>	<b>3,053</b>	<b>△ 231</b>
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>			<b>80,954</b>	<b>136,690</b>	<b>△ 13,321</b>
<b>基本金組入額合計</b>			<b>△ 28,757</b>	<b>△ 101,175</b>	<b>△ 1,989</b>
<b>当年度収支差額</b>			<b>52,197</b>	<b>35,515</b>	<b>△ 15,310</b>
(参考)					
事業活動収入計			955,844	789,633	90,412
事業活動支出計			874,890	652,943	103,733

第6表

## 貸借対照表

平成29年3月31日

(単位 千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,661,883	4,544,826	117,057
有形固定資産	2,927,095	2,932,112	△ 5,017
特定資産	1,734,042	1,611,968	122,074
その他の固定資産	746	746	0
流動資産	745,860	699,216	46,644
資産の部合計	5,407,743	5,244,042	163,701
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	335,185	365,227	△ 30,042
流動負債	336,516	309,826	26,690
負債の部合計	671,701	675,053	△ 3,352
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	5,786,258	5,677,552	108,706
第1号基本金	5,305,297	5,174,664	130,633
第3号基本金	365,961	363,888	2,073
第4号基本金	115,000	139,000	24,000
繰越収支差額	△ 1,050,216	△ 1,108,562	58,346
純資産の部合計	4,736,042	4,568,990	167,052
負債及び純資産の部合計	5,407,743	5,244,043	163,700

第7表		財 産 目 録			
		平成29年3月31日			
<b>I</b>	<b>資産総額</b>			<b>5,407,743</b>	<b>千円</b>
	内 基本財産			2,918,537	千円
	運用財産			2,489,206	千円
<b>II</b>	<b>負債総額</b>			<b>671,701</b>	<b>千円</b>
<b>III</b>	<b>正味財産</b>			<b>4,736,042</b>	<b>千円</b>
<b>区 分</b>		<b>金 額</b>			
<b>資産額</b>					
<b>1</b>	<b>基本財産</b>			<b>2,918,537</b>	<b>千円</b>
	土地	44,401	m <sup>2</sup>	369,347	千円
	建物	25,841	m <sup>2</sup>	1,945,906	千円
	図書	105,019	冊	279,606	千円
	教具・校具・備品	4,718	点	280,303	千円
	その他	158	点	43,375	千円
<b>2</b>	<b>運用財産</b>			<b>2,489,206</b>	<b>千円</b>
	現金預金			596,272	千円
	積立金			1,734,042	千円
	その他			158,892	千円
<b>資産総額</b>				<b>5,407,743</b>	<b>千円</b>
<b>負債額</b>					
<b>1</b>	<b>固定負債</b>			<b>335,185</b>	<b>千円</b>
	長期借入金			63,270	千円
	その他			271,915	千円
<b>2</b>	<b>流動負債</b>			<b>336,516</b>	<b>千円</b>
	短期借入金			35,530	千円
	その他			300,986	千円
<b>負債総額</b>				<b>671,701</b>	<b>千円</b>
<b>正味財産 (資産総額 - 負債総額)</b>				<b>4,736,042</b>	<b>千円</b>

## V 監査報告書

### ・学園監事監査報告書

平成29年5月23日

## 監 査 報 告 書

学校法人純美禮学園  
理 事 会 御中  
評 議 員 会 御中

学校法人 純美禮学園

監 事 東 青 信 

監 事 山 中 隆 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人純美禮学園寄附行為第14条の規定に基づき、学校法人純美禮学園の平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の学校法人の業務の状況及び財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法の概要

理事会に出席し、理事、法人事務局等から業務の執行状況を聴取するとともに関係資料を閲覧し、業務及び財産の状況を監査しました。また、公認会計士山本智三氏並びに香本明彦氏の両人から監査状況の報告を受けるとともにそれらを参考として計算書類等に検討を加えました。

#### 2 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 学校法人の財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、法令及び寄附行為に従い正しく示しているものと認めます。

以 上

・公認会計士監査報告書

独立監査人の監査報告書

平成29年6月7日

学校法人 純美禮学園  
理事会 御中

公認会計士山本智三事務所

公認会計士 山本智三 

公認会計士香本明彦事務所

公認会計士 香本明彦 

私たちは、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、平成27年3月30日付け文部科学省告示第73号に基づき、学校法人純美禮学園の平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

**計算書類に対する理事者の責任**

理事者の責任は、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正または誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正または誤謬による計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちはリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**監査意見**

私たちは、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人純美禮学園の平成29年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

**利害関係**

学校法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

<参考資料>

◆「学生・生徒・園児数」<平成29年5月1日現在>

◇滋賀短期大学

学 科 \ 年 次	1	2	計
生 活 学 科	73	74	147
幼児教育保育学科	158	144	302
ビジネスコミュニケーション学科	90	60	150
計	321	278	599

◇滋賀短期大学附属高等学校

学 年 \ 科	1	2	3	計
普 通 科	183	178	191	552
人間総合科	49	45	47	141
計	232	223	238	693

◇滋賀短期大学附属幼稚園

	3歳児	4歳児	5歳児	計
園 児 数	49	63	49	161